なかでも、久米島大綱曳きでは、多くの町民が参加し、力強い掛け声とともに会場が一体となって盛り上がりました。また、沖縄角力大会では熱戦が繰り広げられ、会場から大きな声援が送られました。

ステージでは、ゴリさんとマンデーさんの司会のもと、島内出演者による歌や踊りのほか、照屋工務店やhitomi、セブンウップスのライブなど、多彩な演目が会場を盛り上げました。さらに久米島出身で琉球古典音楽の人間国宝、中村一雄氏による歌三線が披露され、久米島の歴史と伝統芸能の奥深さを伝える、特別なひとときとなりました。

























まつりのフィナーレには、夜空を彩る打ち上げ花火が披露され、会場は歓声と拍手に包まれました。

今年は前年度の約9,000人を上回る来場者数となり、町民の交流促進と島内外への久米島の魅力発信につながる盛大なまつりとなりました。

開催にあたり、ご協賛・ご協力いただいた企業・団体の皆様をはじめ、出演者、関係者、そしてご来場いただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。